



# ゆり組だより 11月号



平成30年11月20日 ことり保育園 担当:盛り

さまざまな色の落ち葉が舞い落ち、秋も深まる頃となりました。

先日はお忙しい中 保育参観にご参加いただきありがとうございます。保育室で友だちと目もめては「ママと一糸者に作、たんた」、「僕は〇〇を折ったよ」などと伝え合い嬉しそうにしています。

さて、文化会館での芸術フェスティバルに向け、初めてのスチレン板画製作を行ないました。秋をテーマに何を描くか友だちや保育者と相談しながらスチレン板に溝をつけるように描き込み真剣に行なう姿が見られました。

製作中、隣にいた友だちが自分とは違ったものを描いているのを見て「先生、これも描きたい」と手を指差して聞く子がいました。

その子が描いていたのは焼き魚だったのですが「入れるのが難しいことを伝えると少し考える姿ぶりを見せたあと、「じゃあ、お皿の模様にするばいいんじゃないかな」という答えがでてきました。

景色ではなく模様しようという発想には、とさせられると同時にどうしても山を描きたいという気持ちを感じられ、それを受け止めることも大切だということに気づかされました。これから子ども達の柔軟な考えを受け入れ生かせるようにしていきたいです。

そして、おゆうぎ発表会に向けておゆうぎや合奏など練習に取り組んでいます。特に生誕劇では自分達がそれぞれ役になりきって行なうということもあり、保育室に貼り出している台本を読んだり、自分の台詞を言い友だちに聞かせたりとやる気に満ちた姿に頼もしさを感じています。

それぞれの発表を楽しんで行なえるよう配慮し、みんなが本番を迎えられるようにしていきたいです。

